

研究の実際

令和6年度の実践の様子



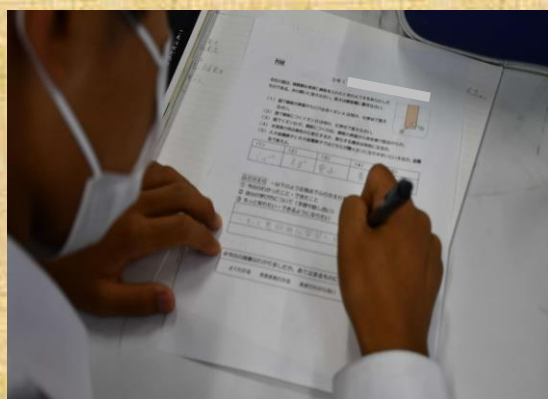
- ①～④・・・3年生 理科
- ⑤・・・3年生 総合的な学習の時間



①「みなあそ学習」の徹底
全教科での共通実践

令和6・7年「熊本の学び」研究指定 「熊本の学び」プロジェクト校

南阿蘇村立南阿蘇中学校研究主題
自ら学び、他者と協働する生徒の育成
 ～すべての生徒が「分かる喜び」を実感し、自分の言葉で学びを語り合う集団づくりを通して～



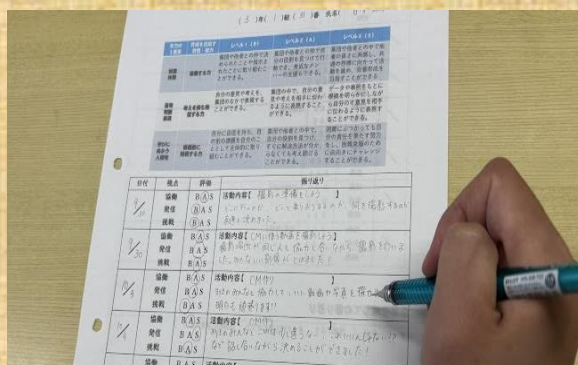
③基礎・基本の徹底
適用問題による振り返り



②協働的な学び・対話的な学び
「話し合いのルール」の活用



教科	理科	
単元名	生命の連続性	
単元のゴール	動物や植物が成長するときや、子を残すとき、最後にどのような変化が起こるのか説明できるようになる	
日付	振り返り	先生から
6/28	生物が成長するとき、体細胞分裂を行い、細胞の数が増えることがわかった。	OK。もう一声
7/5	細胞分裂が行われるときに複製し、染色体の数や内容は全く同じことがわかった。	いい視点です！
7/9	無性生殖は分裂と栄養生殖など様々な種類があり、親と子の形質が全く同じことがわかった。	すばらしい！！



④振り返りの充実
他者の振り返りから学ぶ

⑤ルーブリックの活用
学びに向けた意識の向上



南阿蘇村立南阿蘇中学校

本校の課題(各種調査より)

- 基礎・基本の学力
- 自己認知力・メタ認知力
- 支持的風土



研究構想図の作成

南阿蘇村立南阿蘇中学校 教育研究構想(令和6年度)

学校教育目標
「夢が湧き、夢を叶えることに夢中になれる生徒の育成」

重点的に育成を目指す資質・能力
「協働する力」「考えを持ち発信する力」「積極的に挑戦する力」

研究主題
自ら学び、他者と協働する生徒の育成
~すべての生徒が「分かる喜び」を実感し、自分の言葉で学びを語り合う集団づくりを通して~

《研究の仮説》

- ①生徒が問いを発し、課題に主体的に取り組み、学びを深めていくよう南阿蘇中授業スタイルの授業づくりに教員が取り組むことで、教員の授業力が向上するとともに、生徒は基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるだろう。
- ②教育活動全体を通じて協働的な学びの場を設定するとともに、協働的な学びにより、対話の魅力や効果について生徒が実感できるような学習活動を実施することで、生徒の協働的に学ぶとする意識や考えを持ち発信しようとする力が向上するであろう。
- ③学習活動における振り返りを通して、新たに学んだことや、チャレンジしたことに関して教師が価値付けをし、生徒が実感を得られるようなフィードバックを行うことで、生徒の積極的に挑戦しようとする意識が向上するであろう。

《研究の実際》

授業力の向上

- ①学習規律の徹底
- ②基礎学力の定着
- ③南阿蘇中授業スタイルの構築
- ④指導力向上

対話・協働の充実

- ①対話に関する実態把握・分析
- ②対話の型の作成
- ③深い学びにつながる発問の工夫

カリキュラム・マネジメント調査

- ①カリキュラム・マネジメント
- ②ルーブリック作成
- ③調査・評価

《検証の方法》

・全国学力・学習状況調査 ・熊本県学力・学習状況調査
・i-check ・ルーブリック評価 ・各種質問紙

授業力向上部会

取組1

南阿蘇中授業スタイルの構築



☆課題解決に向けた「みなあそ学習」の共通実践

☆「3つの“あい”」で協働学習を強化
・話し“あい”
・学び“あい”
・深め“あい”

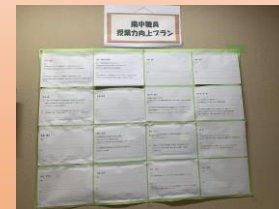
取組2

個々の授業力向上プラン

☆授業検討会でのICT活用

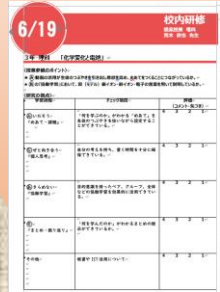


☆教師も主体的・対話的で深い学びを



取組3

校内研修の見直し



☆南阿蘇中授業スタイルと連動させた参観シートを作成

☆数値化して成果と課題を可視化

取組4

「振り返り」の充実

項目	実施状況	達成状況	備考
1. 振り返りの機会を確保する	○	○	
2. 振り返りの内容を充実させる	○	○	
3. 振り返りの方法を工夫する	○	○	
4. 振り返りの成果を評価する	○	○	
5. 振り返りの成果を共有する	○	○	
6. 振り返りの成果を改善につなげる	○	○	
7. 振り返りの成果を評価する	○	○	
8. 振り返りの成果を共有する	○	○	
9. 振り返りの成果を改善につなげる	○	○	
10. 振り返りの成果を評価する	○	○	
11. 振り返りの成果を共有する	○	○	
12. 振り返りの成果を改善につなげる	○	○	
13. 振り返りの成果を評価する	○	○	
14. 振り返りの成果を共有する	○	○	
15. 振り返りの成果を改善につなげる	○	○	
16. 振り返りの成果を評価する	○	○	
17. 振り返りの成果を共有する	○	○	
18. 振り返りの成果を改善につなげる	○	○	
19. 振り返りの成果を評価する	○	○	
20. 振り返りの成果を共有する	○	○	

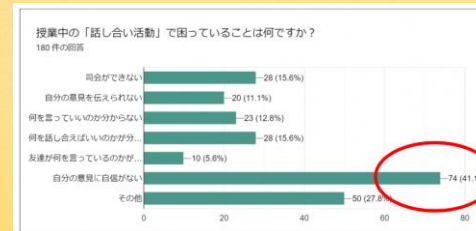
☆何を学んだのかを明確に

☆他の生徒の振り返りから学ぶ

対話・協働部会

取組5

対話に関するアンケートの実施



☆生徒の対話に対する意識等を把握
☆明らかになった課題から取組を検討

取組6

話し合いのルールづくり



☆何のために話し合うのかを明確に

- ・比較のため
- ・答えを導くため
- ・考えを深めるため等

☆対話のルールを視覚化

カリキュラム・マネジメント、調査部会

取組7

ルーブリックの作成・活用

学力の3要素	育成を目指す資質・能力	レベル1 (B)	レベル2 (A)	レベル3 (S)
知識技能	協働する力	集団や他者との仲で決めたことや指示されたことに取り組むことができる。	集団や他者との仲で自分の役割をもち、共通の目標に向かって活動でき、身近なメンバーの支援もできる。	集団や他者との仲で他者の長さに共感し、共通の目標に向かって活動でき、含み形成を目指すことができる。
思考判断表現	考えを持ち発信する力	自分の意見や考えを、集団のなかで表現することができる。	集団の中で、自分の意見や考えを相手に伝えるように表現することができる。	データや事例をもとに根拠を明らかにしながら自分の意見を相手に伝えるように表現することができる。
学びに向かう力 人間性	積極的に挑戦する力	自分に自信を持ち、目の前の課題を自分ごととして主体的に取り組むことができる。	集団や他者の中で、自分の役割を見つけ、すぐに解決方法が分からなくても考え続けることができる。	困難にぶつかっても自分の責任をもち、自ら積極的にチャレンジすることができる。

☆育成を目指す資質・能力を明確に

☆ビジョンの共有

取組8

カリキュラム・マネジメントの充実

☆資質・能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントの実施

☆総合的な学習の時間を中心に